

神戸町 全地域

令和3年度

【地域の概要】

- 本町は東経136°40'、北緯35°20'の濃尾平野の最北端に位置している。南部は大垣市、北部は揖斐郡、西武は奥川を隔てて池田町と大垣市に接し、揖斐川右岸に沿った東西4.1km、南北7.2km、総面積18.78km²の南北に三角形をなした平坦地である。西に伊吹山、北に白山山系の山々を望み、東は清流揖斐川に沿い、南は濃尾平野に連なっている。標高は北西部が高く、南部が低く、南北の高低差は14m程度である。
- 気候は太平洋気候に属し、平均気温は16℃程度、年間降雨量は2,000mm程度であり、概ね温帯な気候である。地質は全域が揖斐川の沖積層で、良質で豊富な地下水に恵まれている。本町では肥沃な土壌を活かした施設園芸が東部で行われ、野菜、花き等が生産されている。特に町の花であるバラは県内での有数の生産量を誇っている。また、町全域で水稲、麦、大豆等の土地利用型作物の生産が行われている。

①取組開始前の状況や課題

人・農地など関連施策の見直しについて（事務局より説明）

【現状】

- 令和2年度に5地区の人・農地プランの実質化が完了
- 農業委員会の委員間でも以前から農業に携わっている方と新規で農業委員になった方とでは「人・農地プラン」に対する認識にかなりの差がある。
（人・農地プランの言葉すら知らない）

◆今後の展開◆

人・農地プランを市町村が策定する
計画として **法定化**

現状地図 の作成

農業委員等がタブレットを活用して作成

目標地図 の作成

最終目標

②取組内容

実質化されたプランの見直し



話し合いの様子

プラン見直しの話し合い（令和4年3月）

- 農業委員、農地利用最適化推進委員、神戸地区の個人農業経営者、農業法人、役場担当者、農委事務局が参加。
- 市街化区域内農地の今後の耕作についての意見が出され、農地法3条をベースとした貸借について話し合いが行われた。

②取組内容

神戸地区の集積へ向けた担い手
同士の話し合い

神戸地区の集積方針

- 神戸地区は、大部分が市街化区域であるが、一部に市街化調整区域も存在する。この地域は、個人耕作者や集団営農経営体が入り組んでおり、更に保全管理のみの農地も見受けられる。
- そこで、下記の地図を利用して神戸地区に特化して担い手同士の話し合いを行った。



③今後の展開と方向性

- 見直しを行ったプランに沿って農地集積・集約化を推進していく
- 神戸地区の担い手間の話合いにより耕作地の集約化を推進していく